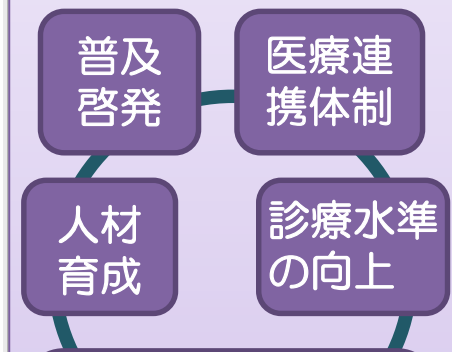


腎疾患実用化研究事業

生活習慣病の増加や高齢化等により、慢性腎臓病(CKD)患者は増加傾向にあり、約1300万人に達すると推定されている。「今後の腎疾患対策のあり方について」(平成20年3月 腎疾患対策検討会)に基づき、①普及啓発、②医療提供体制の整備、③診療水準の向上、④人材育成、⑤研究開発の推進、等の対策がすすめられてきているが、新規透析導入患者減少の達成には至っていない。

当事業では「今後の腎疾患対策のあり方について」に基づき、腎疾患の病態解明や診断法の開発、治療法開発、ガイドライン作成に資するエビデンスの構築など、新規透析導入患者減少の早期実現を目的とした研究を推進する。

腎疾患対策検討会
「今後の腎疾患対策のあり方について」(平成20年3月)
「腎疾患対策のさらなる推進を目指して」(平成30年7月)



研究の推進

- ・診療のエビデンス確立と実践の研究
- ・病態解明と治療法開発に関する研究

- ・腎機能異常の重症化を防止し、慢性腎不全による人工透析導入への進行を阻止
- ・CKD患者(透析および腎移植患者を含む)のQOL維持向上

・医療費削減
・国民の健康やQOL保持

	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	
治療法の開発	病態解明			新規 腎疾患に対する独創的な病態解明研究		
	(シーズ探索)	腎代替治療の開発(透析・移植・再生腎臓など)				
		霊長類を用いた再生腎臓の開発 (H31年度～他事業へ橋渡し)				
		腎臓をターゲットにした治療の開発				
		グレリンによる慢性腎臓病開発				
		心腎連関からみた心不全の新しい治療薬の開発				
				新規 腎疾患に対する画期的治療法の開発 「シーズ探索」		
	(治験準備)					
	(治験実施)					
	バイオマーカー開発	糖尿病性腎症の診断法の開発				
IgA腎症バイオマーカー探索 → IgA腎症の早期発見・早期診断法の開発						
ガイドライン構築のためのエビデンス	慢性腎臓病(CKD)進行例の実態把握と透析導入回避のための有効な指針の作成に関する研究					
	長期観察コホートデータに基づく指針等の検証					
その他(国際連携)	腎移植の治療成績向上に資する研究					

腎疾患実用化研究事業 :2019年度1次公募



#	分野等、公募研究開発課題名	研究開発費の規模	研究開発実施 予定期間	新規採択課題 予定数
1	腎疾患に対する独創的な 病態解明研究	1課題当たり年間 5,000千円程度 (間接経費を含まず)	最長3年 2019年度～ 2021年度	0～2課題程度
2	腎臓をターゲットにした 画期的治療法の開発「シーズ探索」	1課題当たり年間 7,500千円程度 (間接経費を含まず)	最長3年 2019年度～ 2021年度	0～1課題程度

研究開発費の規模等はおおよその目安となります。

公募開始～研究開始までの主なスケジュール

公募期間(提出期間)	2019年1月8日(火)～2019年2月6日(金)正午 ^(注1)
書面審査	2019年2月上旬～2019年3月上旬 ^(注2)
ヒアリング審査	2019年3月11日(月) ^(注2) ※必要に応じて実施
採択可否の通知	2019年4月上旬 ^(注3)
研究開発計画書等提出	2019年4月上旬～中旬
契約締結・研究開発課題開始	2019年4月中旬

(注1): **e-Rad 登録: 正午×切(郵送不可)**

(注2): 審査期間中、研究開発代表者に対して、**審査の過程で生じた照会事項をAMEDが電子メールで送付することがあります**。当該照会に対しては、照会時にAMEDが指定する方法で、期日までに回答してください。また、提案書類受付期間終了後から採択可否の通知までの間、研究開発代表者に対して、**AMEDが事務的な確認を行うことがあります**。当該確認に対しても、確認時にAMEDが指定する方法で、期日までに回答してください。これらの回答は、**提案の受理・不受理の判断、審査、採択可否の判断等での参考情報となります**。

(注3): 採択課題候補となった課題の研究開発代表者に対して**審査結果等を踏まえ、目標、実施計画、実施体制等の修正を求めたり、研究開発費の変更を伴う採択条件を付すことがあります**。その場合、変更した計画の妥当性について、再度検討を行う可能性があります。

質問①

Q : 求められている成果を全て出すためには研究開発費・期間が足りないが、どうしたらよいか。

A : 採択条件に別途、「求められる成果」の提出時期が記載されている場合を除き、「求められる成果」に記載している全ての成果を研究期間内で出すことは必ずしも求められていません。設定された研究開発費の上限と期間の範囲内で現実的に最大限出していただけの成果について、研究開発提案書にご記載ください。但し、より多くの成果を出す見込みの高い研究開発課題を優先的に採択致します。

質問②



Q: 応募する研究提案内容が公募趣旨に合致するか事前に確認したいのですが、どうしたらよいか。

A: 応募される研究提案内容が公募趣旨に合致するかをAMEDが事前に判断することはできません。書面審査にて、評価委員が提案書類について研究提案内容が公募趣旨に合致するかを判断致します。なお、公募趣旨に合致している否かは、審査項目の一つであり、委員会として評価結果の決定に参加する委員の半数以上が「不適」と判断した場合は不採択となりますので、ご注意ください。

質問③

Q : e-Rad上で提案書類をアップロードしたが、提出できません。どうすればよいか。

A: まずは、公募要領の「Ⅲ.公募・選考の実施方法 2. 研究開発提案書等の作成及び提出」を確認してください。なお、ファイルの容量が大きく登録できない場合は、評価に支障がない範囲で①画像の解像度を落とす、②任意の提出書類については取捨選択するなど工夫し、容量を小さくしてください。